

『学術研究推進機構ファクトブックⅠ』

(強み・特色編)

-
1. 他大学・他学部にはない独自性（強み） . . . P 1
 2. 最近における特記事項 . . . P 2
 3. 地域貢献 . . . P 2
 4. 各界・メディア等で活躍している教員・卒業生 . . . P 2

1. 他大学や他学部等にはない独自性（強み）

◆学術研究推進機構

学術研究推進機構は、神戸大学における基盤的な学術研究の創造的発展への寄与を目指し、世界最高水準の研究教育拠点の形成を図るとともに、先端研究における卓越した成果の創出を目指した研究及び開発の推進並びに産学官民連携等を通じた研究開発の活用を推進に資することを目的とする。そして、これらの目的の達成のために、「学術研究推進本部」、「統合研究拠点」、「連携創造本部」及び「研究基盤センター」をもって構成している。また、機構内に機構の業務及び運営に関する重要事項について審議するため、「学術研究推進委員会」を設置し、以下に掲げる事項について審議することを定めている。

- (1) 学術研究の基本戦略の策定に関すること。
- (2) 産官学民連携等を通じた研究開発成果の活用の推進に関すること。
- (3) 本学の学術研究に係る行動規範の改定に関すること。
- (4) その他学術研究の推進に関すること。

◆学術研究推進本部

学術研究推進委員会が策定する学術研究の基本戦略に基づき、研究活動の支援、研究環境の向上、研究活動の評価、研究資金の獲得と活用等に関する具体的戦略の策定及び実施により、学術研究活動を推進することを目的とする。そして、学術研究推進本部の業務については、神戸大学学術研究推進機構学術研究推進本部規程において、以下のように定めている。

- (1) 学術研究の具体的戦略の策定及び実施に関すること。
- (2) 研究水準の向上と評価に関すること。
- (3) 研究活動の支援及び研究環境の向上に関すること。
- (4) 大学として取り組むべき重点研究領域に関すること。
- (5) 科学研究費助成事業等の外部資金獲得の方策に関すること。
- (6) 大型外部資金の獲得に向けたプロジェクトに関すること。
- (7) その他学術研究の推進に必要なこと。

さらに、本部の下に「学術研究戦略企画室」、「グローバルCOE推進委員会」及び「研究設備整備計画委員会」を置いて、以下に掲げる事項について審議することを定めている。

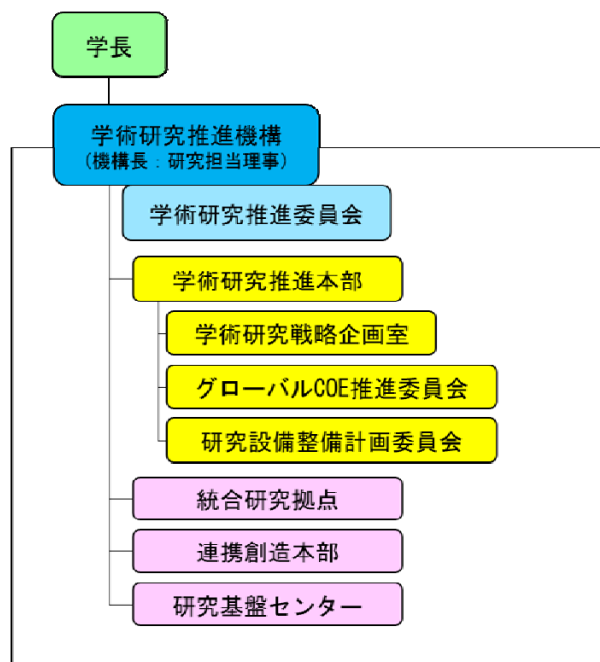
1. 学術研究戦略企画室

研究活動の支援、研究環境の向上、研究活動の評価、研究資金の獲得と活用等に関する具体的戦略に係る企画立案、調査及び情報収集を行う。

2. グローバルCOE推進委員会（グローバルCOEプログラム拠点ごとに設置）

- (1) グローバルCOEプログラムの拠点で行う事業の実施及び評価に関すること。
- (2) 各グローバルCOEプログラムの拠点への助言に関すること。
- (3) その他グローバルCOEプログラムの拠点に関すること。

3. 研究設備整備計画委員会



- (1) 研究設備の整備等に係る目標、計画、実施及び評価に関する事項
- (2) その他研究設備マネジメントに関する事項

2. 最近における特記事項

◆学術研究戦略企画室

平成 25 年に文部科学省「研究大学強化促進事業」に採択され、先端研究・文理融合研究、海外の有力な大学・研究機関との連携等、本学の特色である「国際性」と「統合性」を更に強化するため、研究者の研究活動の活性化や研究開発マネジメントの強化等を支える業務に従事する人材として、学術研究 URA 及び産学連携 URA を配置した。

URA による活動実績は以下のとおりである。

○科研費の採択改善

種目別採択状況、他大学との比較等の分析を行い、各部局の戦略策定支援を行うとともに、セミナーの開催（2回）や若手向け申請書作成手引きを作成・公開した。また、通常支援と併せて科研費の大型種目、若手種目、再挑戦への支援強化のため、インセンティブ経費を付与する早期支援プログラムを実施した。平成 27 年度は、特に大学としての重点事項である若手種目・大型種目の採択率・採択数改善に向け支援を行い、申請数が大幅に増加した。

○大型競争的資金（CREST・さきがけ等）の獲得支援

採択状況、他大学との比較等の分析を行い、採択増加に向けた施策を検討し、制度・応募のポイント等の理解促進を目的とした説明会等の開催、申請数増加に向けた各部局訪問、URA を中心とした申請書作成支援等により、採択数、応募数ともに昨年度を大幅に上回った。

○国際的な研究力強化

URA と国際担当部署が連携し、国際共同研究に向けた人材交流促進のため、これまでのワークショップ等を契機に開始した研究交流を共同研究へ繋げる新たな助成プログラム「国際研究力強化事業助成」を開始し、国際的プレゼンス向上に資する取組の助成を行った。

○若手研究者の支援・育成

URA を中心に、若手人材育成の方針と理念に基づく全学的なテニユアトラック制度である「神戸大学テニユアトラックプログラム」を開始するとともに、ホームページの公開、シンポジウムの開催等を行った。

また、本学の卓越した業績を挙げた若手研究者が研究リーダーとして活躍することを期待して「優秀若手研究賞」及び「若手研究者異分野融合研究アイデアコンテスト」を実施した。

3. 地域貢献

特になし

4. 各界・メディア等で活躍している教員・卒業生

特になし

『学術研究推進機構ファクトブックⅡ』

(沿革・構成編)

1. 沿革・設置目的 . . . P 1
2. 機構長・本部長 . . . P 1
3. 副機構長・副本部長 . . . P 1
4. 構成 . . . P 2
5. 校地・校舎等の状況 . . . P 2
6. ミッション（教育研究上の目的、設置の趣旨目的） . . . P 3
7. 教育研究上の活動状況 . . . P 3

1. 沿革・設置目的

○学術研究推進機構

◆平成14(2002)年1月

《設置目的》

基盤的な学術研究の創造的発展への寄与を目指し、世界最高水準の研究教育拠点の形成を図るとともに、先端研究における卓越した成果の創出を目指した研究及び開発の推進並びに産学官民連携等を通じた研究開発の活用を目的に設置。

○学術研究推進本部

◆平成19(2007)年6月

《設置目的》

学術研究活動を推進するため、具体的戦略の策定を実施することを目的に学術研究推進本部を設置。

2. 機構長・本部長 (H28.4.1現在)

○学術研究推進機構長

◆小川 真人 (研究・産学連携担当理事)

任期：H27.4.1～H29.3.31



○学術研究推進本部長

◆小川 真人 (研究担当理事)

任期：H27.4.1～H29.3.31

○学術研究戦略企画室長

◆小田 啓二

任期：H28.4.1～H29.11.30

3. 副機構長・副本部長 (H28.4.1現在)

○学術研究推進機構副機構長

◆小田 啓二

任期：H27.4.1～H29.3.31

※機構長の指名する者をもって充てる。

副機構長は、機構長の職務を補佐する。

○学術研究推進本部副本部長

◆小田 啓二

任期：H27. 4. 1～H29. 3. 31

※学長が指名する者をもって充てる。

副本部長は、本部長の職務を補佐する。

4. 構成 (H28. 4. 1 現在)

◆学術研究推進委員会 【参考資料1】

機構に、機構の業務及び運営に関する重要事項について審議するため、学術研究推進委員会（以下、委員会）を置く。

委員会は、次に掲げる者をもって組織する。

- (1) 機構長
- (2) 副機構長
- (3) 人文学研究科、国際文化学研究科、人間発達環境学研究科、法学研究科、経済学研究科、経営学研究科、理学研究科、医学研究科、保健学研究科、工学研究科、システム情報学研究科、農学研究科、海事科学研究科、国際協力研究科、科学技術イノベーション研究科、先端融合研究環、経済経営研究所及び医学部附属病院から選出された教員各1人
- (4) 地域連携推進室長
- (5) 連携創造本部から選出された職員1人
- (6) 研究基盤センター長
- (7) 研究推進部長
- (8) その他学長が必要と認めた者

◆学術研究推進本部

本部は、次に掲げる者をもって組織する。

- (1) 本部長
- (2) 副本部長
- (3) 本部員
- (4) 専任教員若干人
- (5) 先端融合研究環長
- (6) 研究推進部長
- (7) その他学長が必要と認めた者

5. 校地・校舎等の状況

なし

6. ミッション（教育研究上の目的、設置の趣旨目的）

基盤的な学術研究の創造的発展への寄与を目指し、世界最高水準の研究教育拠点の形成を図るとともに、先端研究における卓越した成果の創出を目指した研究及び開発の推進並びに産学官民連携等を通じた研究開発の活用を推進している。

○学術研究推進本部

- ・学術研究活動を推進するため、具体的戦略の策定を実施。
(研究活動の支援、研究環境の向上、研究活動の評価、研究資金の獲得と活用 等)
- ・グローバルCOE研究拠点の支援。

7. 教育研究上の活動状況等

○学術研究推進本部

- ①学術研究の具体的戦略の策定及び実施。
- ②研究水準の向上と評価を行う。
- ③全学の研究戦略の企画・立案をし、研究活動の支援及び研究環境の向上を図る。
- ④大学として取り組むべき重点研究領域への支援。
- ⑤科学研究費助成事業等の外部資金獲得の推進。
- ⑥大型外部資金の獲得に向けたプロジェクトの支援。

『学術研究推進機構ファクトブックⅢ』

(データ・資料編)

1. 本務教員数 … P 1

2. 教育研究上の活動状況等 … P 2

1. 本務教員数

◆年代別本務教員数

年代	職 名				
	教授	准教授	講師	助教	助手
20代	0	0	0	0	0
30代	0	1	1	0	0
40代	1	1	0	0	0
50代	1	1	0	0	0
60代	3	0	0	0	0
計	5	3	1	0	0

◆出身大学別本務教員数

大学名等 専攻名	神戸大学	東京大学	京都大学	大阪大学	その他の 大学
		(0)	(0)	(0)	(0)
		(0)	(0)	(0)	(0)
		(0)	(0)	(0)	(0)
合 計	0	0 (0)	(0)	0 (0)	0 (0)

◆外国人教員数

アジア	北米	中南米	欧州	アフリカ	オセアニア	計
						0

2. 教育研究上の活動状況等

2-1

○学術研究推進機構

◆科学研究費補助金(補助金分・基金分)

(千円)

種 目	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
新学術領域研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定領域研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基盤研究(S)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基盤研究(A)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基盤研究(B)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基盤研究(C)	0	0	0	0	0	0	1	1,100	0	0
挑戦的萌芽研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
若手研究(A)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
若手研究(B)	0	0	0	0	0	0	1	700	1	700
研究活動スタート支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別研究員奨励費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
奨励研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研究成果公開促進費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0	0	0	2	1,800	1	700

◆共同研究, 受託研究, その他外部資金

(千円)

種 目	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
共同研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受託研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他外部資金	0	0	0	0	0	0	4	32,264	3	29,959
合 計	0	0	0	0	0	0	4	32,264	3	29,959